

学校番号	13	学校名	静岡県立浜松特別支援学校	校長名	園田一哉
------	----	-----	--------------	-----	------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

共生社会の中で「自分らしく力強く生きる人」を育てる

「共生社会」: 多様な生き方・価値観を認め、自他を大切にしながら周りの人々共に生きる。

「自分らしく」: 知性・完成・身体能力などを磨き、自分の持てる力を最大限に発揮する。

「力強く」: 身辺自立、生活自立、社会自立に必要な力を備え、物事に進んで取り組む。

(2) 目標具現化の柱

- ア <授業> 確かな学びと成長を実現する学校
- イ <安全・安心> 命と人権を大切にする学校
- ウ <協働> 家庭、地域、関係機関と協働して支援する学校
- エ <チーム> 教職員が夢を持って学校づくりに参画し働きがいを感じる学校

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア <授業> 確かな学びと成長を実現する学校			
児童生徒が夢中になれる学校生活の創造	・時期毎のテーマを核とした年間指導計画の作成及び単元づくり	年間計画の作成にあたって、時期毎、取り組むべきことを明確化・焦点化している。	学部 学年
個別最適な学びの充実	・学びのプロセスと成長（願う姿）をイメージした目標の設定 ・個に応じた支援、環境設定	学びのプロセスと個々の成長を想定した支援目標及び個別の指導計画に基づいた指導ができている。	学部 学年
協働的な学びの充実	・集団で効果的な学びを実現できる集団編成と工夫	集団で取り組む(友だちと取り組む)良さを生かした授業づくりを実践している。	学部 学年
自立活動の充実	・流れ図を活用した話し合い ・自立活動基本研修の実施 ・実践例の紹介 ・教材・教具の紹介	話し合いを通して実態を多面的に捉え、効果的な自立活動の指導ができている。	自立活動課 学部 学年
生活単元学習、作業学習の充実	・3つの視点(最良のテーマ・成就したいこと・解決したいこと)の確認と検討 ・学びの見取りを意識した授業実践	・最良のテーマを基に、成就したいことは何かを明確にした授業づくりをしている。 ・授業や単元ごとに個々の学びを共有できている。	研修課 学部 (学習グループ) 学年

様式第1号

国語・算数/数学の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の領域と段階を捉えた年間指導計画作成 ・ミニ学習会等の実施 	個々の実態から学習指導要領の領域・段階を捉えた指導計画を立て、授業づくりをしている。	教務課 学習指導課 学部
ICTの活用の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用情報の掲示板掲載 ・学部・学年・分掌等へのICT関連での支援と助言 	児童生徒がICTに関心を持ち、情報活用力が高まる授業づくりをしている。	情報教育課
図工・美術等、表現活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・単元毎に鑑賞活動を設定 ・画材や楽器の補充 ・出前講座等の活用 	感性を磨き、個性を生かした表現活動のできる素材や補助具を用意している。	学習指導課
健康指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・健康や身体イメージを学ぶ保健体育・生活指導の実施 	児童生徒が健康を意識して生活できるよう働き掛けている。	保健体育課
道徳指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画に観点を記入 ・単元カードに観点を記入して共有、確認 	道徳の指導の観点から抑えるべき内容を確認して、各教科や合わせた指導等を行っている。	学習指導課 学部 学年
イ <安全・安心> 命と人権を大切に作る学校			
命を守る意識と行動力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな状況を想定した避難訓練の実施 	児童生徒の命を守るために、指示が無くとも取るべき行動を自身で判断することができる。	防災課
安全・快適な環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・安全点検のマンネリ化防止 ・定期的な職員作業の実施 	施設を効果的に活用するために、廃棄・片付け・清掃に自ら気づき取り組んでいる。	総務課
危機管理意識向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの共有 ・破損箇所・機器故障の速やかな報告 	ヒヤリハットの発信・情報共有による怪我や事故予防を意識した指導と支援を行っている。	保健体育課 学部 学年
人権を守る意識と行動力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・人権研修会の実施 ・自己チェックの実施 ・人権の話題の随時配信 	学校が児童・生徒の居場所（安心する場）となるよう、人権を意識した言動を心掛けている。	生徒指導課
相談体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が学校生活の悩みを相談できる場を工夫する 	校内で児童生徒が相談しやすい場ができています。	生徒指導課
ウ <協働> 家庭、地域、関係機関と協働して支援する学校			
発信力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な広報活動 ・インスタグラムによる配信 	学校を知ってもらえる伝え方、発信の仕方を工夫している。	学部 情報教育課
交流及び共同学習と江之島地区四校協働体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・交流教育の推進 ・四校連携協働委員会の開催 ・協働事業の検討と実施 	交流教育の意義を意識し、実りのある活動が実施できている。 四校協働事業が実施できた。	管理職 特別支援課 学部

様式第1号

学校応援隊の活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材を活用した学習の計画、実施 ・ボランティアの開拓 	地域と触れ合い、地域の役に立つ等の活動に取り組んでいる。	特別支援課 学部 学年
進路指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導の手引き活用 ・進路先と連携した学習会の実施 	児童生徒の「夢」を育み、本人・保護者の「願い」を大切にされた進路指導をしている。	進路支援課
センター的機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・HPでの窓口等の情報発信 ・連携校への訪問・メール等 	高等学校や小中学校のニーズに対応するため、教育相談、研修支援等への依頼に応じている。	特別支援課
エ <チーム> 教職員が夢を持って学校づくりに参画し働きがいを感じる学校（業務改善）			
安心して働ける職場環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員相談窓口の整備 ・「浜松特支の夢を語る会」の実施 	相談しやすい体制ができていると感じる。	教頭 企画会
教職員として学ぶ時間づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・指導体制、業務の偏りを改善 ・学校全体の業務の見直し ・管理当番の完全業務移行 	特別な場合は除き、週に複数回、空き時間を確保している。 時間外在校等時間 360H/年以上の職員はいない。	学部 副校長
指導効果を高める予算の執行	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な校内巡視と校内の要望の聞き取り ・計画的・効果的な予算執行 	必要物品の計画的な購入、不具合箇所への迅速な対応、不要物品の積極的な廃棄等を行っている。	事務部
倫理観の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・校長による講話 ・不祥事根絶研修の実施 ・自己チェックの実施 	不祥事0件 教師として誇りを持って仕事ができている。	管理職

（記入上の留意点）

1 (1) (2) の欄は、抽象的な理念にとどまらず、学校の特色を明解に表現すること。また、具体的な重点項目が外部にわかりやすいよう工夫して記載すること。